

## 薬学研究総論

[講義] 第1・2学年 通年 必修 2単位

《担当者名》全指導教員

### 【概要】

所属する研究分野以外の研究手法を学ぶことにより、専門領域にとらわれない広い研究視野を修得するとともに、自らの課題研究に応用する能力の修得を目指す。

### 【学修目標】

- ・ 専門分野以外の研究分野における研究手法を説明できる。
- ・ 異なる研究分野における研究手法を、専門分野の課題研究に応用できる。

### 【学修内容】

| 回            | テーマ  | 授業内容および学修課題   | 担当者   |
|--------------|------|---|-------|
| 1<br>）<br>15 | 総合講義 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 生物活性天然物の生物有機化学的研究手法の修得</li><li>・ 生理活性物質の構造解析法の修得</li><li>・ 生薬成分の単離と分析法の修得</li><li>・ 生体内微量成分の超高感度測定法の修得</li><li>・ 放射性プローブを用いる分子イメージングの修得</li><li>・ 酵素活性解析法の修得</li><li>・ 遺伝子機能評価法の修得</li><li>・ ウイルスの遺伝子変異解析法の修得</li><li>・ 食品成分の単離法と機能評価法の修得</li><li>・ 培養がん細胞を用いた抗腫瘍効果分析法の修得</li><li>・ 培養細胞を用いた薬効解析法の修得</li><li>・ 電気生理学的手法による生体機能解析技術の修得</li><li>・ 動物モデルや培養細胞を用いた病態診断・解析法の修得</li><li>・ 薬物の体内動態解析法の修得</li><li>・ 薬剤の有効性・安全性の評価法の修得</li><li>・ 種々製剤の試作と評価法の修得</li><li>・ 薬物血中濃度モニタリング技術の修得</li><li>・ 薬物療法における医薬品適正使用の修得</li></ul> 上記のうち、所属する研究分野以外の研究手法 | 全指導教員 |

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

課題レポート（100%）により評価する。

### 【教科書】

各指導教員の指定する書籍など

### 【参考書】

各指導教員の指定する論文など

### 【学修の準備】

各指導教員の指導による。